

生るには甚勝れり、朝鮮には肥たる田に多く作りをき、鎌にて刈取、常に菜に用ゆると云、

〔宜禁本草五菜〕水蘄 甘平無毒、置酒醬中香美、和食療寒令人主女子赤沃、止血養精、保血脈益氣、令

人肥健嗜食、殺藥毒莖葉擣取汁、去小兒暴熱、治大人酒後熱毒、鼻塞利二腸葉根寒、養神益力、治煩渴、

療崩中帶下、治五種黃病、煮食並得、三月八月勿食、芹恐病蚊龍瘦、

〔延喜式三十九〕供奉雜菜

日別一斗、○中略芹四把、準四升、自正月迄六月、

漬年料雜菜

芹十石、○中略八斗 右漬春菜料

〔公事根源正月〕供若菜

上子日

若菜を十二種供事あり、其くさくさは、若菜はこべら、苜、せり、蕨、なづな、あふひ、茨蓬、水蓼、水雲、松と  
みえたり、○中略尋常は若菜は七種の物也、薺はこべら、芹、善御形、すゝしろ、佛の座などなり、

〔日本書紀二十七〕十年十二月乙丑、天皇崩于近江宮、癸酉、殯于新宮、于時童謠曰、美曳之弩能、曳之弩  
能阿喻、阿喻舉會播、施麻倍母曳岐、愛俱流之衛、奈疑能母膝、制利乃母膝、阿例播俱流之衛、

〔萬葉集二十〕天平元年班田之時、使葛城王從山背國、贈○陸誤陸誤、妙觀命婦等所歌一首、副芹子裏  
安可彌佐須、比流波多多婢、氏奴婆多麻乃欲流、乃伊刀末仁、都賣流、芹子許禮、

陸妙觀命婦報贈歌一首

麻須良乎等、於毛敝流母能乎、多知波吉氏、可爾波乃多爲爾、世理曾都美家流、

右二首、左大臣讀之云爾、左大臣是葛城王、後賜橘姓也

〔出雲風土記 意字郡〕津間拔池、周二里卅步、有鳧鴨

〔續修東大寺正倉院文書三十二〕造物所作物帳斷簡、年紀不詳、按成卷文書四十五卷所收天平六年造佛所作物帳斷簡、恐與此同物也、